

Reaxys 講習会

(リアクシス)

時間: 16:25 - 17:55

場所: 附属図書館1階ラーニングコモンズ

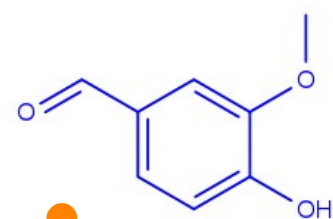
Reaxysは化学に関わる大学や企業、研究機関で、研究や教育ツールとして広く使われているデータベースです。ユーザーが必要とする「データ」そのものをより簡単な操作で得られます。今回の講習会では、Reaxysの概要と今後役に立つ検索方法を実戦形式で説明いたします。

文献から抽出した
価値のある「データ」
そのものを提供

構造式・テキストから
物性、反応、合成経路、
文献の検索が可能

直感的に使える
ユーザーフレンドリー
な検索システム

バニリンの合成法や物性が
簡単に知りたい!



構造式を入力して検索

反応情報

化合物情報

Description (NMR Spectroscopy)	Nucleus (NMR Spectroscopy)	Coupling Nuclei	Reference
Spectrum	¹ H		Shekarforoush, Elhamalsadat; Mendes, Ana C Baj, Vanessa; Beeren, Sophie R.; Chronakis, Ioannis S. - [Molecules, 2017, vol. 22, # 10] Full Text > Cited 1 times > Details > Abstract >
Chemical shifts	¹ H		Yang, Caiqiong; Peng, Wei; Yang, Bijuan; Zhu Junjie; Chen, Yegao - [Natural Product Research, 2016, vol. 30, # 14, p. 1565 - 1570] Full Text > Cited 3 times > Details > Abstract >

論文を読まなくても画面上で
「データ」が確認できます

ユーザーの声



大阪大学大学院基礎工学研究科
物質創成専攻機能物質化学領域
合成超分子化学グループ

廣瀬 敬治 先生

私が化学情報検索を始めたのは35年前の研究室デビューの時。

検索と言えば、①引用文献を②図書館にて③必要な文献を複写し④情報を読み出し⑤報告用の表にまとめながら⑥考察。「アッ、閃いた！」と悪魔の囁きを聞いたものです。

後に、Beilsteinに出逢うと、一気に⑤に進めて感激。

表を見ながらの考察が楽しめ、「天使の囁き」が聞けました。

近年、文献数が増えましたが、Reaxysで閃きの機会（端緒と時間的余裕）が持てます。

大学教員として望むこと。

時間に追われる分野の最先端研究に携わったとしても、自身を成長させる余裕を持ってください。Reaxysはそのための贈り物。使いこなす価値あります。

検索結果に実験操作が載っているところが便利
(化学企業研究員)

合成反応がチャート化されて検索できる場所
(工学研究科教員)

化学反応を簡単に調べられる
(化学企業研究員)

検索結果が見やすい
(工学研究科院)

あいまい検索ができる
(基礎工学部学生)

古い反応までしっかり出てくる
(理工学部学生)

ページレイアウトが明快でわかりやすい
(生命科学部学生)

反応の簡単な条件が見てわかりやすい
(理学部学生)

作りたい化合物の反応を探せる
類似検索もできる
(工学系研究科院生)

反応条件が探せる
Similarityで調べられる
(大学研究員)

化合物のスペクトルの載っている
文献がさがしやすい
(工学部学生)

色々な反応が探しやすく
見やすくわかりやすい
(理学部学生)

合成経路を複数提案してくれるので、
一つの方法が無理でも別を試すことができる
(理学部学生)

既知化合物であれば
一度に全行程を検索できる点
(薬学部学生)

私がReaxysの前身Beilstein Commanderと出会ったのは1996年、22年前です。それ以来、このデータベースは私の日常業務に必須不可欠な存在です。私の仕事のパートナーと言って過言ではありません。私が22年間Reaxysを使い続けた理由、これからも使い続けたいと思う理由は以下の3点に集約されます。

- 1) 各ヒットの情報を基に、当該文献を参照する/しないを判断でき、時間の無駄が省けます。
- 2) 絞り込み検索やソート機能が充実しており、必要な情報やデータのみを選別することが可能です。
- 3) これが一番魅力的な点ですが、ユーザーの声を反映しながら、日々使いやすく進化しています。

企業の一研究員として望むことですが、どの分野に進んでも一生使えるスキルを、学生の内に身に付けて頂きたいと思います。具体的には、実験技術と情報リテラシーです。前者は研究活動で習得できますが、後者を磨くにはReaxysの利用が一番です。Reaxysで研究をよりスムーズに進めながら、一方で情報リテラシーを充実させる。まさに、一石二鳥だと思っています。



アルプス薬品工業(株)
研究開発部
郡司 祐樹 様

